

前回12月10日の例会記録

出席の状況

会員数 51名 (内出席免除 3名) 出席者数 34名 欠席者数 17名

出席率 68.00% 前々回訂正 8600%

欠席者 藤原, 福元, 原, 原田, 樋口, 日笠, 梶谷, 鴨井, 小橋, 鴻上, 小松原, 中西, 大饗,
竹本, 槌田, 横山, (平野)

S . A . A .



野村証券 中川博登様



市川会員

梶谷先生におかれましては、岡山県小児科医会の30周年の記念式典に功労賞をご受賞されました由、大変おめでとうございました。



岡本(浩)会員

中川さん、本日の卓話ありがとうございます。有意義な御話楽しみに聞かせて頂きます。



川本会員

北西RCに入会して10年が経ちました。(入会日H14.12.9)引き続きよろしくお願ひします。



堀川会員

結婚記念日のお祝いの花が今朝届き、思い出しました。ありがとうございました。



西岡会員

昨日、JRAからすこし預金が引出せたのでスマイルします。

以上,6件 24,000円(累計 640,000円)

会長報告

会長 西山 隆三郎

- ・本日、来年2月3日に開催されますIM(インターシティー・ミーティング)開催のご案内を配布しております。今回は美作RC・岡山RCのホストで開催され、会場も我がクラブのホームグラウンドであるここホテルグランヴィア岡山ですので、お一人でも多くの方にご出席いただきたいと思います。
- ・岡山市社会福祉協議会より「創立90周年・共同募金運動65周年記念大会」の表彰状・記念品が届いております。
- ・残念なお知らせですが、中西敏子会員より退会届けが提出されました。退会は今月末をもってとなりますが、例会にご出席いただくのは次回が最後となります。

幹事報告

幹事 相原 利行

- ・先週の理事役員会におきまして、後期会費の承認をいただきました。ご案内の送付は年が明けてからとなりますが、納入期限は来年1月末日となりますので、ご準備のほどお願いいたします。

外部卓話

「お金」とは何か、その保存方法を考える」

野村證券株岡山支店 ファイナンシャルアドバイザー 中川 博登 氏

リーマン・ショック以来、世界経済は従来にないほどの混沌さを抱きつつも、それでも人々の生活向上への意欲を糧に成長を続けています。

ただ、その経済成長の姿は戦後の一部先進国により作られたルールでは統制できない、これまでにない様相を呈しながら進んでおります。

かつてはG7、G8という枠組みで語られていた事が、今ではG20などの多国間交渉の場を用いるようになり、もはや一国の思惑で世界が動くような状況ではなくなってきています。

そんな中、日本人が日本に住まいながらどのようにして自身とその家族、仲間を守っていくのか、非常に難しい多くの選択を迫られていると言えます。

日々の生活、老後の心配、子・孫世代へ残すもの、様々な心配事があるでしょうが、本日は「お金」を通じた気付きと保存方法を考えていきたいと思います。



まず、「お金」とは何かを考えてみましょう。

通常「お金」を手に入れるためには働く必要があります。「働く」とは自身の時間、体力、知力、知識、人脈その他多くのものを投入することです、そしてその対価が「お金」ですから、つまり「お金」=「自分の分身」であると言えます。今現在の自分の価値をお金に換えて、それを「将来」に備えて蓄えておけるという素晴らしい保存機能がついているものが「お金」なのです。

さて、自分の時間や知識といった目に見えないものが将来への備えとして「お金」という目に見て触れるものに変換されるのは良いのですが、それをその「将来」に向けて、どこに保存すれば良いのでしょうか？日本国内に留め置くことはお勧めできません。その理由が配布した資料の内容となります。

冒頭に述べましたように、世界経済は成長しています。そしてその成長の中心は、一定の先進国でも、まして日本でもありません。新興国と呼ばれる国々を抜きにして世界経済は語れないようになってきています。BRICsや Growth Marketsと呼ばれる新たな枠組みが成長を牽引しています。勿論、先進国はその規模においてまだまだ存在感のあるものではありますが、20年後、50年後の世界は現在とは大きく異なっているはずで

す。その「将来」に向けての「お金」の保存方法ですから、一生懸命考えてもらうことが必要なはずですので、これをひとつのきっかけにさせていただければ幸いです。



寄稿文

「三次一美術館と義士の町一」 岡本 和夫 会員

晩秋の一日、三次の町を訪ねた。三次盆地は、可愛川（えのかわ）と西城川や馬洗川が巴をなして江の川本流に注いでおり、夏から秋にかけて霧がたちこめ「霧の里」といわれる。江の川は芸備の国の北部の大半、広島県の実に1/3の水域から水を集め、江津から日本海に注ぐ中国地方最大の河川である。その地形から推して三次の町は豪雨ともなると水害の危険性がきわめて高いと想われる。数年前、三瓶山の山登りの帰りに訪れたことがあるが、今回の旅の主目的は、犬塚勉展が開催されている「奥田元宋・小由女美術館」の訪問である。尾道ICから尾道自動車道を通り、馬洗川に沿った国道184号線を北上して三次に入った。

美術館は奥田夫妻と三次市の長年の夢が叶い、平成18年に開館した。なだらかな丘陵を利用した3階建てで、建築家柳澤孝彦氏の設計である。屋上を利用した池には満月が映り、毎月満月ロビーコンサートが開かれるという。奥田元宋・小由女夫妻はともに文化功労章受章者で（日本画家元宋氏は1984年文化勲章受章、故人）、吉舎町の日彰館高校出身である。「元宋の赤」と称されるほど、氏は山々の紅葉と月そして滝をモチーフにみごとな大作を描いている。小由女氏は人形作家である。

犬塚勉氏は美術教師として働きながら、初期には異国の風景や人物、精神世界を反映したような仏像や抽象表現などの作風を展開した。1984年からは、自ら熱中した登山に題材を求めて、写実的な自然を描いていく。しかし1988年、水の表現を追求するため登った谷川岳で遭難し、38歳という若さでこの世を去った。2月、3月という時期に日本アルプスを単独で縦走するなど自己鍛錬と自然の美しさに向き合った人生を送った。

昼食後、江の川西岸にある岩脇古墳の墳丘に上がった。円墳で頂上に竪穴式石室がある。墳丘から三次盆地を一望見はるかすことができた。続いて川をはさんで北の尾関山公園に向かった。関ヶ原の功で福島正則が尾張清洲から芸備の国にやってきて19年間治めた。その時の重臣のひとり尾関石見が2万石をもらい、三次一帯をあずかった。彼は小丸積山と呼ばれていたこの山に城を築いた。城は廃墟と化したのが、土地のひとつとはこの山を尾関山と呼んで親しんでいる。春は桜、秋はもみじの名所で、紅葉がみごとであった。公園より道をはさんで北側に、「鳳源寺」という臨済宗の寺がある。福島正則が信州に配流されたのち、かわって浅野家が入部する。三次に5万石の支藩が置かれ、初代の浅野長治が「鳳源寺」を建立した。当時の彼の治績が立派で、三次の人は彼を「鳳源院」様と敬ったそうである。長治の娘の阿久利姫が、同じく浅野家の分家である播州赤穂の浅野内匠頭長矩に輿入れした。その際、城代家老大石内蔵助良雄が三次まで迎えにきたという言い伝えがあり、鳳源寺境内に内蔵助良雄が植えたとされるしだれ桜があった。境内から少し登ると瑤泉院遺髪塔、そして四十七士の出立の姿を模した木像を配したお堂がある。

三次町と十日市町等が合併して三次市になった往時は、国鉄芸備線・福塩線・三江南線が合した物流の拠点として随分賑わったことであろう。現在市域は広いが、人口55000人で過疎化が進んでいる。目立った大型店や看板もなく、落ち着いた町であった。



例会情報

本日のメニュー（12月17日）

コーンチャウダー 特製ビーフシチュー 季節の野菜添え
 ミックスグリーンサラダ シェフ特製デザート コーヒー ホテル特製パンとバター

次回のメニュー（12月24日）

クリスマス家族例会